

2023年

12・1月

No. 351



蜷川自治振興会

世帯数 6,310

市立蜷川公民館

人口 13,461

男 6,617

女 6,844

TEL 421-2971

(R5.10月末現在)

ホームページ <http://ninagawa-jichi.com/>

今後の予定

12月	7日(木)	10:00~	赤ちゃん教室 (蜷川校下保健推進員、南保健福祉センター)	場所：市立蜷川公民館
	8日(金)	9:30~13:00	いきいきクラブ (いきいきクラブボランティア)	場所：市立蜷川公民館
	15日(金)	9:30~13:00	いきいきクラブ (いきいきクラブボランティア)	場所：市立蜷川公民館
	23日(土)	11:30~	にながわふれあい子ども食堂 (にながわふれあい子ども食堂実行委員)	場所：市立蜷川公民館
	26日(火)	13:30~15:00	ふるさと講座「フラワーアレンジメント教室」 (ふるさとづくり推進協議会)	場所：市立蜷川公民館 対象：蜷川校下住民
1月	6日(土)	10:30~	蜷川地区はたちの集い (蜷川自治振興会)	場所：富山国際会議場 対象：H15.4.2~H16.4.1 生まれの方
	12日(金)	9:30~13:00	いきいきクラブ (いきいきクラブボランティア)	場所：市立蜷川公民館
	26日(金)	9:30~13:00	いきいきクラブ (いきいきクラブボランティア)	場所：市立蜷川公民館
	27日(土)	11:30~	にながわふれあい子ども食堂 (にながわふれあい子ども食堂実行委員)	場所：市立蜷川公民館

※詳細につきましては、回覧等でご確認ください。

祝 蜷川地区はたちの集い



日時：令和6年1月6日(土) 10時30分~11時30分

会場：富山国際会議場 3階メインホール

対象：平成15年4月2日~平成16年4月1日生まれの方

内容：式典、記念撮影

その他：当日は、事前に送付します「受付票」に署名の上
ご持参ください

11月1日現在で富山市に住民登録していない方(市外・県外在住者)へは、案内状が届きません。出席を希望される方は、蜷川地区センター(TEL: 421-2971)まで事前にご連絡ください。案内状が届きましたら、出欠のハガキをお早めにお出してください。感染対策にご協力ください。

年末年始の地区センター業務等の休業について

蜷川地区センター・市立蜷川公民館・市立図書館蜷川分館

令和5年12月29日(金)~令和6年1月3日(水)

蜷川地区ふるさとづくり推進協議会

ふるさとづくり推進協議会は、各町内会並びに各種団体と連携し、豊かで魅力あるふるさとづくりに取り組んでいます。

事業の柱は2つあります。

【ふれあい総合事業】は、住民のふれあい、生活に結び付く活動や伝統継承、教養趣味をテーマとした事業です。

【ふるさと講座】では、住民の学習意欲向上や生きがいの充実及び地域の教育力向上を目的に各種講座を開講しております。ここ数年は、コロナの影響を受け事業の中止もありましたが、令和4年度は、事業すべて開催することができました。

令和4年度の実績としては、【ふれあい総合事業】では、親子で汗水を流した「さつまいも植えと収穫体験」、楽しく健康的な「蜷川住民ウォーキング」、「自然と歴史探訪」では、黒部峡谷パノラマ展望ツアーを行いました。また、長寿会の皆様による「ふれあい伝承活動」、一大イベントの「蜷川ふれあい文化祭」は423名のご参加を得て活況に溢れた素晴らしいものになりました。

【ふるさと講座】では、「みそ作り教室」、「生活習慣病予防講座」、「ちぎり絵教室」、「ます寿司作り教室」、「家庭教育学級（2回）」、「料理教室」、「七宝焼き教室」、「スマートフォン教室」、「しめ縄作り教室」、「パン作り教室」を1075名のご参加を得て計画すべての講座を開講することができました。

皆様の格別のご理解ご協力の程お願い申し上げますと共に、本会の企画する事業・講座にお気軽にご参加いただければ幸いです。

(蜷川地区ふるさとづくり推進協議会 委員長 平野 康弘)

蜷川校下社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域住民の幸せを願い、「地域福祉」の増進に寄与することを目的に、各種の社会福祉事業に取り組んでいます。

蜷川校下には、要支援者の元へ日々安否確認にまわる福祉推進員や民生児童委員、町内会役員等の福祉関係者がおられます。その方たちを支え、㊦ない手を意識し育てる校下、㊧かま意識を高め合える校下、㊨がんばっていると言い合える校下、㊩が事（蜷川事）としてとらえる校下、をスローガンに活動を展開中です。ここ数年、各福祉関係団体は活動の縮小等が続きましたが、今年は地域での活動や住民同士の交流機会を増やし、福祉の活動も復活傾向にあります。

〈重点的な取り組み〉

① 「地域福祉」への理解促進活動の展開

食生活と地域社会を見つめ直す『食と健康の地域づくり講座』を年3回実施しました。

② ボランティア活動の活性化

いきいきクラブやふれあい子ども食堂をはじめとする地域のボランティア活動を支援、「地域共生社会づくり」に取り組んでいます。

③ 広報活動

『蜷川福祉だより』や特別版を発行しています。

④ サロン活動の支援

各町内で開催されているふれあいサロン活動を支援しています。

⑤ ケアネット活動（隣近所助け合い活動）

要支援者を年間通じて地域の福祉関係者等で見守っています。

⑥ 研修活動

町内会長が参加する「地域ケアネット推進会議」をはじめ、各種研修により福祉情報の収集・交換・活用等に努めています。



「食と健康の地域づくり講座」
(第3回)

(蜷川校下社会福祉協議会 会長 細野 忠)

蜷川地区環境保健衛生連合会

蜷川地区の住民の皆様には日頃より環境美化活動へのご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

令和5年度の主な活動についてご報告いたします。

5月に太田川河川美化活動（自治振興会主催）に協力参加しました。

6月にはごみステーション巡視活動を実施、上袋・八日町・黒崎・蜷川の4ヶ所で各ステーション担当の方から日頃の運用やマナー等について説明を受け情報交換と意見交換をしました。

7月には高速道路側道側溝美化活動として、中日本高速道路(株)富山高速道路事務所様のご協力を得て、総勢100名の方々に5班に分かれて可燃・不燃のごみ拾いを約1時間行いました。

8月には役員で環境美化巡視活動を行いました。立て看板（ごみポイ捨て禁止・ペットマナー啓蒙）の劣化や不具合を確認するため、主に小杉・布市・朝菜町方面を巡回しました。

10月は施設見学会を開催し、今回は北陸コカ・コーラ砺波工場の製造ラインのエコ取組や地域への環境貢献の説明を伺い、環境対応を日々実践されていることを学びました。特にペットボトルのリサイクル率は50%を超えており、近い将来には100%リサイクルになると断言されていました。

その他、保健推進員の皆さんによる「仲間づくりの赤ちゃん教室」を定期的で開催して安心安全な地域づくりを推進しています。

以上、主な活動をご紹介しましたが、環境美化について実施すべき提案・課題等がありましたらご意見をお聴かせください。

(蜷川地区環境保健衛生連合会 会長 高月 輝夫)

蜷川校下防犯組合連合会

蜷川防犯組合連合会では、日頃から安全な街づくりのため、各町内会防犯理事の方々と月・金曜日の夜間、青色回転灯パトロール車にて、校下全域を巡視活動、毎週水曜日の昼間、毎月20日「防罪抑止の日」に巡回パトロールを実施しております。

主な活動

- ・夏季、年末パトロールを昼夜各町内会理事の方々と実施
- ・恒例の「カギかけんまいけキャンペーン」をアピタ富山店にて各町内会役員、関係諸団体とパンフレットの配布実施
- ・校下文化祭にて、最近の犯罪状況報告及び犯罪抑止運動を富山南警察署 生活安全課 横山様と実施
- ・富山南警察署にて、「特殊詐欺を打ち返す」セレモニーを、富山南部地区少年野球協会、蜷川カープ、蜷川防犯合同で実施
- ・富山南防犯連絡所、富山南防犯パトロール隊合同研修会実施



令和5年度受賞者

- ・優良防犯連絡所表彰 蜷川校下防犯組合連合会副会長 福井 忠一
- ・富山市表彰 蜷川校下防犯組合連合会

代表者からのメッセージ

地域の皆様方には、日頃から防犯活動、行事等にご協力とご支援をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。これからも「地域の皆様が安全で安心して暮らせる街づくり」をモットーに活動をしてまいります。

よろしく願いいたします。

(蜷川校下防犯組合連合会 会長 割山 勇孝)

蛭川体育協会

蛭川体育協会の年間行事としては、ソフトボール大会、ウォーキング大会、ゴルフ大会、パークゴルフ大会、ビーチボール大会、ペタンク大会など活動しております。

また、今年住民運動会開催にあたり皆様に楽しんで頂ける運動会にする為にプログラムの見直し、競技の時間短縮などスタッフ共々アイデアを出してまいりました。

コロナで外出等出来なくなり肉体的、精神的にストレスがたまった3年間だったと思います。今年は、今までの経験を踏まえて大会要項を見直して誰でもが気軽に参加できる競技運営をしていきたいと考えております。

昨今、市の体育館などでもニュースポーツ体験イベント等開催されております。

皆様も親子などで参加してみると意外と楽しめると思います。体協役員もニュースポーツに関しては体験、勉強会など開いておりますので紹介していければと考えております。

これからも皆様に愛される蛭川体育協会でありたいと思いますので、ご理解、ご協力をお願いします。

蛭川体育協会ホームページも開設しておりますので、見ていただければ幸いです。



蛭川体育協会
HP



(蛭川体育協会 会長 岡本 義晴)

蛭川校下児童クラブ指導者協議会

さる令和5年9月2日(土)～3日(日)に、富山市民プラザにて、富山市児童クラブ指導者協議会による「富山子ども大会 児童クラブ絵画展」が開催されました。

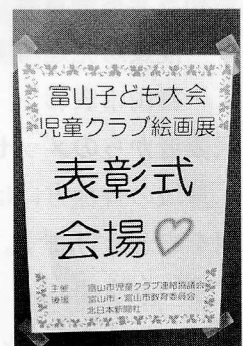
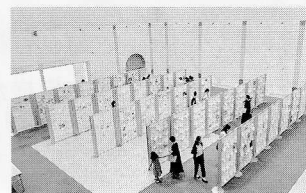
この絵画展は、富山市内の児童クラブに加入している小学校を対象としており、当協議会では、蛭川小学校、同校育友会及び蛭川校下の各町内児童クラブのご協力のもと、対象となる全ての子ども達に応募用紙を配付し、結果、38点もの応募がありました。

今回の絵画展のテーマは「わたしのすきなもの」で、家族やペット、食べ物など、どの作品も自由で個性が溢れる素敵な作品ばかりでした。

富山市全体では、約1,100名の応募があり、金賞・銀賞・銅賞・佳作が各学年10名、合計240名が入賞。そのうち、蛭川校下では、金賞5名・銀賞1名・佳作5名が入賞という優秀な成績を修めることができました。

これも、日頃から暖かく子ども達を見守っていただいている保護者の皆様、そして蛭川小学校の先生方、さらには地域の皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。

今後も、子ども達が、健やかに成長できるよう、そして、蛭川校下の益々の発展の為に引き続きご協力の程、よろしく願いいたします。



(蛭川校下児童クラブ指導者協議会 会長 坂野 哲史)

富山市消防団富山方面団蜷川分団

消防団は、自分たちの町は自分たちで守るという意気込みで活動しています。日頃から、消火訓練、水防訓練、震災対応訓練、防火啓発活動、火災予防広報、消防設備機器の操作技術の習得、救難救助機器の操作方法等の習得活動を行っております。

主な活動（令和5年）

- 1月 富山市消防出初式 市役所前にて防火防災に対する新たな意気込みを披露
分団屯所前でポンプ車による放水披露 分団員で安全祈願
 - 3月 春の火災予防週間 広報活動、富山市総合火災訓練
富山市消防団 辞令交付式 富山市消防本部
 - 4月 辞令交付式 表彰式 年度活動報告、活動計画 方面団操法大会選手任命式
 - 5月 操法大会の操法訓練 講習会参加 蜷川小学校 富山市消防本部等にて早朝訓練
 - 6月 富山方面団操法大会に出場 富山県防災センターにて
令和5年度大会は、3位の成績で富山市操法大会に出場
 - 7月 富山市消防操法大会に出場 富山県防災センターにて
 - 9月 航空機救難救助訓練 一般人には入れない空港滑走路にて訓練実施
 - 10月 主に各町内会 防災訓練に参加
 - 11月 秋の火災予防週間 広報活動 富山市総合火災訓練
 - 12月 歳末消防特別警戒 広報活動 警戒活動
- その他、各町内の防災会イベント参加、事業所の避難訓練に参加

消防団員が減少し不足しています。興味のある方は、消防団員、町内会長等にお問い合わせ願います。
富山市役所ホームページに応募フォームがあります。
こちらの方でも申し込み可能です。参考にしてください。

富山市消防団員募集



(富山市消防団富山方面団蜷川分団 分団長 黒瀬 哲治)

蜷川民生委員児童委員協議会

蜷川民生委員児童委員は21名で構成されています。内2名は児童福祉を専門に担当する『主任児童委員』です。残りの19名が蜷川校下を19に分けて担当しています。

民生委員児童委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。といっても給与支給はなく、ボランティアとして活動しています。任期は3年ですが、再任も可能です。住民の秘密に触れることが多いので守秘義務があります。

活動内容としては、以下の様なことがあげられます。

- (1) 地域住民が抱える問題について、相手の立場に立って相談を受けます。
- (2) 日常的な見守りや訪問活動を通じて、支援の必要な方の状況を把握します。
- (3) 福祉の制度やサービスの内容について、必要な情報を提供します。
- (4) 住民が福祉サービスなどを必要とする場合、適切な場所に繋ぎ支援を行います。

各委員は誰もが安心して生活できる蜷川校下づくりのため、日々努力しています。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

(蜷川校下民生委員児童委員協議会 会長 辻 慶)

蜷川小学校体育施設開放事業運営委員会（通称：学校開放委員会）

この会は、蜷川小学校の体育施設を住民の用に供することにより、安全な遊び場の確保、健全な団体活動の促進及びスポーツ振興を図り、かつ住民の健康増進に寄与することを目的に、富山市長の委嘱を受けて活動している団体です。

昭和55年7月、富山市で25番目にグラウンドの照明が設置されたことにより、体育館を含め開放事業を開始しました。又、同時に蜷川学校開放だよりを発行し、平成15年3月までは、情報提供のため校下の全戸数に毎月配布しておりました。現在では、蜷川自治振興会発行による、蜷川だよりの最終頁に蜷川学校開放だよりを掲載し、情報の提供を行っております。

活動内容

- (1) 毎月17日に小学校体育館において、次月利用日程を決定するために、管理指導員（4名）、各クラブ代表者、利用団体代表者による調整会議をしている。
- (2) 管理指導員（9名）で月曜日から金曜日19：00～21：00照明、施錠、施設の状況確認及び利用人数の調査を行い、毎月富山市に報告している。

（蜷川小学校開放運営委員会 委員長 和仁 正勝）

蜷川校区少年補導委員会

蜷川校区少年補導委員会は、富山市から委嘱された男女それぞれ5名の補導員で構成されています。主な活動は春・夏・冬の学校の休みに合わせて校区内の公園や神社、ショッピングセンターの見回りと、中央補導という富山駅周辺の巡回活動への年6回程度の参加です。

校区の見回りは3～4人で車に乗っての巡回と徒歩でのショッピングセンター内のパトロールを行っており、不審者がいないか、遅くまで出歩いている子がいれば声をかけるといった事が主な活動内容です。3回の休みにそれぞれ5回で年間15回のパトロール活動を行っています。車での巡回時には『少年パトロール』と書いたステッカーを掲示し公園付近はゆっくりと走行していますので、住民の皆さんには多少御迷惑をおかけしている事もあるかもしれませんが、子供たちの健全育成の一環としてご理解とご協力お願いします。

また、毎年年末には校区のコンビニや書店を回り青少年にとっての有害図書が陳列されていないか調査を行っています。また、最近ではスマートフォンを使った犯罪に子供たちが巻き込まれる事件も増えており、その防止のため携帯ショップへ『フィルタリング』の設定推進の依頼に訪問をしたりもしています。

補導と言うと、非行を取り締まるといった厳しいイメージがありますが、実際の活動は声掛けと緑のベストと言った目立つ服装で巡回する事により存在感をアピールし、非行や少年犯罪を未然防止する抑止力が活動の目的と認識しています。ささやかな活動ですが、子供たちの健全育成を願いメンバー全員で今後取り組んでいきます。

（蜷川校区少年補導員会 会長 中村 隆司）

男女共同参画推進リーダー

近年は、少子化に伴う人口減少・超高齢社会の到来、さらには深刻な労働力不足、経済のグローバル化など、社会・経済情勢が急激に変化する中、働き方や子育て、介護などの問題が顕著化しています。

こうした問題には、性別に関わりなく互いに尊重し合い、個性と能力を存分に発揮できる男女共同参画社会の実現が重要であり、社会の多様性を尊重し、地域活力を高めるなど、社会全体で取り組む必要があります。

男女共同参画推進リーダーは男女共同参画社会の実現のために各地域において、様々な取り組みを展開しています。

ここ数年は、コロナ禍などにより、思うような活動ができませんでしたが、今後は男女共同参画社会の実現に向けて、微力ながら取り組んでまいりたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（男女共同参画推進リーダー 久保田 諒）

蜷川校下青少年健全育成連絡協議会

当協議会は、昭和40年にスタートした「日本の将来を担う子供・若者が健やかに成長できる環境を整備し、支援する」国民運動が始まりとなっています。

当時とは、時代も考え方も変わってきていますが、少子高齢化が進む中で家庭や学校だけで解決できない事もあり、意外に大事な役割を果たせるのではないかと考えています。

昨年11月からの活動報告をします。まだ、以前のような活動状況にはなっていませんが、少しずつコロナ以前に戻ればと思っています。

令和4年11月25日	南部ブロック会議	堀川南地区センター
11月26日	推進指導員講習会	社会福祉センター
令和5年4月7日	南部ブロック会議	蜷川地区センター
6月20日	青少年健全育成連絡協議会総会	社会福祉センター
7月2日	せせらぎ交流教室「数字ならべ」	蜷川地区センター
8月2日	おやこの料理教室	蜷川地区センター

(蜷川校下青少年健全育成連絡協議会 会長 小又 三明)

蜷川校下保健推進員

令和5年、コロナもやや減少し仲間づくりの赤ちゃん教室を開催できることになり、誠に嬉しく思っています。

今年は、コロナ禍でなかなか外にでることが出来なかったたくさんの赤ちゃんやお母さんに会いたくて、今までの年6回コースの赤ちゃん教室を半分3回コースにして2回実施することにしました。

7月 心理相談員の子育て相談、8月 手作りおもちゃ、9月 親子でリフレッシュヨガを行いました。

お母さんから「もう少し良かった」「赤ちゃんに触れ合うことができよかった」の声がきかれ、赤ちゃん教室を開催してよかったと感じました。まだ10月～12月の赤ちゃん教室も、この言葉を糧に頑張ろうと思っています。

10月1日 蜷川住民運動会では健康チェック・握力測定をしました。

これからも地域団体と協力し活動していきたいと思っています。



(蜷川校下保健推進員 代表 安田 美好)

にながわふれあい子ども食堂

「地域みんなで作る子ども食堂」をテーマに毎月第4土曜日に、蜷川地区センターにて活動をしています。

子どもは無料、大人は300円でお腹いっぱいご飯が食べられます。

コロナ禍では、お弁当での提供でしたが今年5月からは会食形式での開催を再開することができました。

現在は、1回に約100人の方に年齢問わず来ていただいています。

今年は、ケーブルテレビ富山さんに取材をしていただき、近隣の企業さんからお野菜の寄付を定期的に受けることができるようになりました。

そのつながりから夏休みの特別開催では、メタル貯金箱作りのワークショップも行うことができました。

8月には開催から4周年を迎えました。その記念として、蜷川カープの子ども達とみんなで手作り餃子を作り、食事の提供も行いました。

子ども食堂の活動は、たくさんの方に関心を持っていただき、ご協力やご支援をいただくことで成り立っています。

お手伝いさんはじめ、ご協力いただいているみなさま、本当にありがとうございます。

私たちの活動が蜷川地域に住んでいる方にとって、安心できる楽しい居場所となるよう、今後も活動を続けていきたいと思っています。



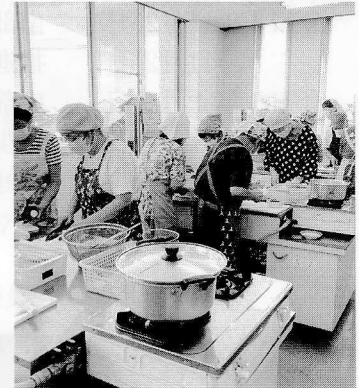
(にながわふれあい子ども食堂 代表 文山 梢)

蜷川校下食生活改善推進協議会

食生活改善推進員は、“私達の健康は私達の手で”～のばそう健康寿命、つなごう郷土の食～をスローガンに健康作りボランティアとして現在10名で活動しています。

今迄、コロナ禍で活動はあまりできませんでしたが、今年は5類に移行し保健所での講習は人数制限がありますが、地区に戻り食改員に伝達講習を行いそれから地域の方に参加して頂き伝えるということができるようになった事はうれしく思います。

今年は、三世代ふれあいクッキング、がん予防食、バランス食、フレイル予防食を実施しました。参加された方の感想として“高齢者になると簡単に済ませる”事がよくありますが日々の食事に気を付け、野菜は生だと多くとらなければいけないが火を通すと食べやすく量も多く摂れ、家でも作りたいという感想をいただきました。今回は、男性の方も参加していただきありがとうございます。



これからも美味しく楽しんで食べて元気に長生きを！食べることは「生きること」の基本です。住民の健康寿命を延ばす為、食育の推進啓発に努めていきたいと考えています。

(蜷川校下食生活改善推進協議会 理事 小池 春枝)

蜷川校下公民館連絡協議会

蜷川校下公民館連絡協議会は、校下各町内の自治公民館16館で構成されています。

終戦後、公民館が設立された目的は以下の通りです。

1. 住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献する、また学ぶための場
2. 地域のさまざまな機関や団体の間にネットワークを形成し、生活のなかで気軽に人々が集うことができる場

また、最近では以下の事も大きな目的になっています。

まちの防災や福祉、子どもについて考える活動とその拠点の場

各自治会の行事がやっと再開される中、この原点に戻り、町内会の各活動にどれだけ参加し、援助できるかが、今後の公民館活動を左右していくと思います。皆で知恵を出し合いながら、前に進んで行きましょう。

6月は国宝『勝興寺・瑞龍寺』を訪ねる研修会に11名の参加を頂き、昼食会で意見交換も行い実施しました。

また後期の研修会も現在計画中です。



(蜷川校下公民館連絡協議会 会長 清水 秀峰)

蜷川長寿会連合会

「蜷川長寿会連合会」は昭和34年に創立以来64年が経過しました。会員は毎年減少し現在918人。問題は色々ありますが、夫々の活動に参加する人が固定し、会員の半分にも達しないということです。会員増強も大切ですが、現会員が活動に参加して頂くにはどうすればよいかが一番重要だと思っています。

「楽しくなければクラブじゃない」と言い切るクラブも現れています。顔を合わせて会話が弾み、体が動き出す。楽しくなければ長続きしません。我々も「楽しく」をテーマに今後の活動を考えようかと思っています。皆様のご意見をお聞かせください。

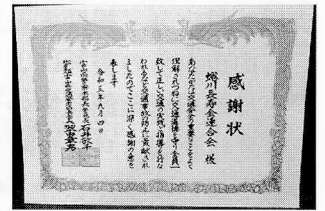
9月の「富山県交通県民大会」において「交通安全功労団体」として感謝状を授与されました。長年に亘る会員各位のご苦勞やご協力（シルバー交通安全教室への参加や児童登下校時の見守り隊の実施等）の賜物とありがたく頂いてまいりました。高齢者の交通事故が増えています。気をつけましょう。

私も車の運転がいつまで続くか心配です。免許返納、足腰の弱まり、蜷川地区で交通難民になりかねません。

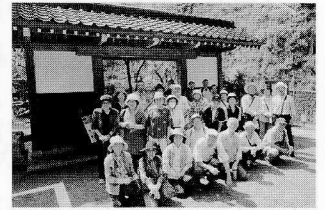
7月に、「蜷川地区の公共交通・二次交通に関するアンケート調査」が行われ、当会も協賛しました。今年度末には結果がわかるそうですが、避けては通れない問題だと思います。

今後とも当会へのご指導、ご協力をお願い申し上げます。

(蜷川長寿会連合会 会長 村尾 剛)



感謝状



歩こう会（民族民芸村散策）

蜷川校下いきいきクラブボランティア

蜷川校下いきいきクラブボランティアは65歳以上のひとり暮らしの方、話し相手が欲しいと感じておられる方を、市立蜷川公民館に招き食事を提供している団体です。

他の町内の人と顔なじみになり会話もはずみ楽しい雰囲気のとやかな場所です。

令和5年度のいきいき活動では、

- ペタンク、工作、校下文化祭用ぬり絵
 - 消費センター：暮らしに潜む危険・事故
 - 下堀交番：高齢者の交通ルール、特殊詐欺
 - 富山ふるさとマスター：富山のまつり
 - 包括支援センター：血圧測定、健康について
 - ボランティア仲間：篠笛、琴、大正琴演奏
- 楽しさいっぱいです。

食事面では、炊き込みごはん、カレー、シチュー、天ぷら、五目ちらし、豚カツ、鰯の照り焼き等高齢者に食べ易く工夫され煮物、酢の物、みそ汁、デザート付きで大変喜ばれています。

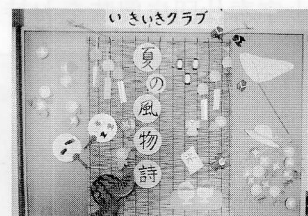
淋しく一人でお昼を食べていないで月2回食べに来てみませんか。見学希望される方大歓迎です。

その時は、東（TEL：428-2215）まで連絡下さい。（食事の準備がありますので）

現在会員数は32名。定員は40名までとします。

入会希望の方は、町内の民生委員または東^{あずま}まで声をかけてください。

毎月 第2・4金曜日
朝9時30分～13時頃まで
会費は無料



この事業は社会福祉法人富山市社会福祉協議会が、地域の給食ボランティアの協力を得て実施しているものです。

(蜷川校下いきいきクラブボランティア 代表 東 百合子)

蛭川校下留守家庭児童会運営協議会

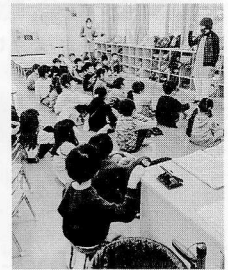
蛭川校下留守家庭児童会運営協議会（蛭川しろがね子ども会）は、放課後児童健全育成事業として、保護者が仕事などで昼間留守家庭の蛭川小学校児童（1，2，3年）を対象に子ども達に健全な遊び場や生活の場を提供し、保護者のお迎えまでの間、支援・見守り・援助する目的で開設しています。

富山市からの委託により学校関係者や地域の各種団体の役職者で構成されています。拠点は蛭川児童館北側の子ども会施設です。

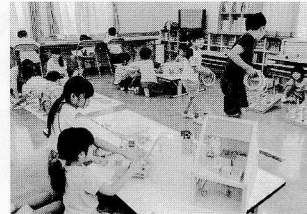
昨今は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を鑑み、いろいろな事業を縮小しながら行っていますが、今年の3月には「洪水時の避難確保計画における避難訓練」を実施しました。利用児童には事前に訓練の意味や避難経路などの説明をして理解を促したうえで、当日は真面目に取り組むことができました。特に6月、7月には記録的大雨により身近な所にも被害が相次いだ事もあり、訓練の必要性を感じました。

感染症の制限が緩んだとはいえ、まだまだ感染対策を続けながら児童たちの遊び方も少しずつコロナ前に戻して行けたらと思います。

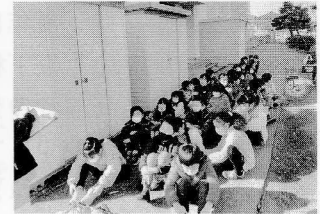
（蛭川校下留守家庭児童会運営協議会 会長 松尾 樹）



避難訓練をします！



ルールを守って遊びましょう



みんな、いますか～？

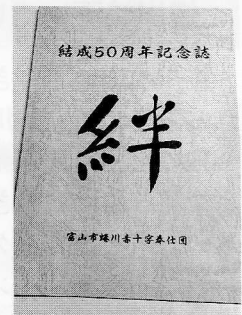
富山市蛭川赤十字奉仕団

このたび、富山市蛭川赤十字奉仕団は、結成50周年記念誌『絆』を発刊いたしました。団員の寄稿文や、活動を写真でつづり、50年の歩みを辿りました。多くの方々にご一読いただける機会があれば幸いです。

蛭川赤十字奉仕団は、杉山由美第4代委員長の元、約100名の団員で組織されています。

主な活動を紹介します。

- 5月 ◎献血推進活動 献血協力の看板を掲げて、ファボーレで行いました。
◎トルコ・シリア地震救援金募金活動と、奥能登地震被災者に義援金を送りました。
- 6月 ◎80歳以上ひとり暮らし高齢者訪問 ボックスティッシュ5個にお手紙を添えてお届けしました。
(12月に2回目の訪問)
- 7月 ◎富山県赤十字奉仕団研修会に出席
◎おやじ倶楽部主催『親子DEキャンプ』に協力 小学生の皆さんに、ハイゼックス（ポリエチレン袋）を使って、ご飯炊き出しを体験してもらいました。
- 10月 ◎校下住民運動会 救護班として、出場者のケアにあたりました。
◎三世代交流事業に協賛 カレーと蒸しパン（ハイゼックス使用）作りを実施します。
- 12月 ◎NHK海外たすけあい街頭募金 毎年、たくさんの温かい善意をいただいております。



私達は、これからも赤十字事業に尽力すると共に、地元で根ざした人にやさしい活動を、幅広く展開してまいります。赤十字奉仕団に興味をお持ちの方、心より入団をお待ちしております。



（富山市蛭川赤十字奉仕団 書記 森野 智恵子）

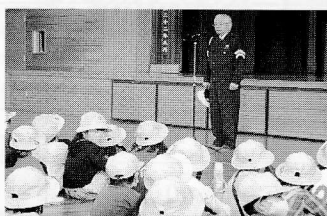
富山南交通安全協会 蜷川地域支部

当支部の活動に、日頃より地域の皆様には深いご理解とご協力等賜り心より感謝申し上げます。主な活動は年間4回（春・夏・秋・年末）交通安全運動が実施されており、理事の皆様により期間中広報車で巡回広報活動を実施しています。

4月は蜷川小学校入学式に新入学児童全員にランドセルカバー・黄色帽子を進呈し登下校時の交通安全を呼び掛けております。また、1年生の交通安全教室、4年生の自転車教室を富山南警察署、富山南交通安全協会の協力を頂き学校周辺で実施しています。皆さん真剣に取り組んで頂いています。



1年生交通安全教室



4年生自転車教室・正しい止まり方の指導

毎年4月 赤田地主社で蜷川地域支部交通安全祈願祭をおこなっています。その後、交通安全キャンペーンを実施しています。



交通安全祈願祭



交通安全キャンペーン

蜷川地域支部「高齢者パークゴルフ大会」を開催し競技後に「交通安全教室」を開催し交通安全啓蒙活動を実施しています。

蜷川地域支部役員一同、交通事故が1件でも減少するよう活動を推し進めていきます。

今後とも地域の皆様のご協力、ご支援の程宜しくお願い致します。

※交通指導員を募集しております。やってみたいと思われる方は是非お声掛け下さい。

※交通安全協会蜷川地域支部は皆様から頂いた「賛助金」で運営しています。

今後とも多くの皆様から支援、ご協力お願い致します。

(富山南交通安全協会 蜷川地域支部 支部長 松井 聡)

蜷川小学校育友会

蜷川小学校のPTA組織である育友会です。

育友会は、執行部・総務部・学年部・広報部・バザー部・安全パトロール部・地区部そしておやじ倶楽部の8つの部により構成しており、子供たちの活動を見守っています。

今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから小学校の活動もコロナ禍前の行事内容に戻りつつあります。

今年度は、

4月に新入生を対象とした安全教室を行いました。

5月に半日の開催ではありましたが、全校生徒がグラウンドに集まり運動会が開催されました。

7月にはおやじ倶楽部の主催による「親子DEキャンプ」を開催し、1泊2日の日程で活動を行いました。

8月には2・4年生の親子により小学校の美化清掃に取り組みました。朝早い活動ではありましたが、たくさんのご家族にご参加いただきました。

今後とも子供たちの笑顔があふれるよう活動していきたいと思っております。

今後とも地域の皆様の温かい目で蜷川小学校の子供たちを見守っていただければ幸いです。

(蜷川小学校育友会 会長 友澤 健太郎)

令和5年度学校開放だより

12・1月度 蛭川小学校体育施設開放週割表

第409

R5.12.1

曜日	管理者	体育館（夜間）	グラウンド（夜間）	体育館（放課後）	グラウンド（放課後）
月	和仁	スポーツ交流会	冬季閉鎖	少年バスケット	冬季閉鎖
火	横尾	バレーボール	//	少女バレーボール	//
水	田村	バスケット・インディアカ	//	少年サッカー	//
木	太田	ビーチボール	//	少年野球	//
金	和仁	フットサル	//	少女バレーボール	//
土	松浦	よさこい	//	少年サッカー・少女バレーボール	
日	—	—	//	少年野球・堀中女子バレーボール	

※お知らせ

- ・12月の学校開放委員会は、12月18日(月)19:00～ 地区センターで行います。
- ・12月26日(月)～1月4日(水) 蛭川小学校体育館を休館とします。
- ・グラウンドは12月1日～3月31日まで冬季閉鎖といたします。

※体育館・グラウンドの使用申込みは、使用前月の学校開放委員会（12月18日）が開催される蛭川地区センターに必ず代表者が出席し、確認のうえ申し込み下さい。

委員長	和仁正勝 (090-4683-4042)	管理指導員	岡本義晴 (090-6270-5323)
管理指導員	河西 潔 (429-6484)	管理指導員	竹内 崇 (422-0249)

町内会・各種団体紹介コーナー

●蛭川地区の各町内会・各種団体の活動等について紹介します●

今回は、蛭川町内会の紹介です。

蛭川町内は、蛭川校下の南西部に位置しています。

町内は、事業所と一般世帯がほぼ半々で、富山市障害者福祉プラザ、富山市保健所、富山南警察署、富山県健康増進センター、富山県心の健康センターなどのたくさんの公共施設があります。

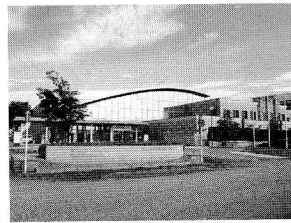
少子高齢化に伴う高齢者の一人暮らしや空き家の増加、人口減少などのたくさんの問題があり、また老人ホームや障害者施設があるため、防犯や災害時の避難誘導などの問題もありますが、町民全員でこれらの問題の対策に取り組んでいます。



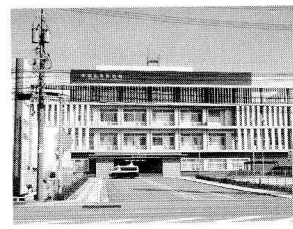
老人ホーム「光風苑」



グループホーム「ひより」



富山市保健所
富山県心の健康センター



富山南警察署

(蛭川町内会長 田村 政晴)